

新入職員のご紹介！



嚙下や構音などに不安がある方はぜひお気軽に声をかけてください。

言語聴覚士 荒井 美香



早く仕事を覚えて、業務をスムーズにできるように努力していきます。

看護師 高栖 順子



地域医療振興協会の一員として、地域の方の健康を支えています。

看護師 西連寺 まこ



未熟者ですがより多くの方の役に立てよう頑張ります。

看護師 井坂 一樹



先輩方からのサポートを受けながら、一生懸命頑張ります。

看護師 三森 夕嘉



看護師として患者様の話を傾聴し、寄り添う看護をしていきたいです。

看護師 田口 明香



患者様にとって何が必要かを考え、良質な看護を提供できるように頑張ります。

看護師 島田 岬



患者さんに寄り添える薬剤師になれるように頑張ります。

薬剤師 石井 菜月



患者様に寄り添った看護を心がけます。

看護師 田山 雄一



患者様に頼られる看護師になれるように頑張ります。

看護師 大野 好枝



家族愛を忘れず、患者様に安心していただけるように頑張ります。

看護師 鈴木 綺咲



日々成長していけるよう努力していきます。

看護師 人首 明美



新人ではありますが、患者様を全力でサポート、看護します

看護師 田上 弘樹



事務補助として職場の方々の手助けができるように頑張ります。

総務課 鈴木 舞

●病院NEWS●

石岡警察署から表彰



警察運営に協力し、表彰されました。

石岡地域市民医療シンポジウム



石岡地域の医療の現状について発表しました。

職員食でお寿司



福利厚生の一環として、職員食でお寿司がふるまわれました。

面会禁止のお知らせ

当院では、入院患者感染予防のため、当面の間、面会を禁止させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

(令和2年4月現在)

公益社団法人 地域医療振興協会

ISHIOKA DAICHI Hospital a Quarterly Magazine GENKI



石岡第一病院 広報誌

元genki気



令和2年度
石岡第一病院 入職式

令和2年度新入職員

- **読む感染対策**
- **認知症ケアチーム**
- **新入職員のご紹介**
- **病院NEWS**



読む感染対策

医療技術部長
星野 朋男



野球評論家で元プロ野球チームの監督である、故・野村克也さんには数々の名語録があります。中でも特に有名なのはこの言葉…、

「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」

実はこの言葉は野村さんの創作ではなく、江戸時代中・後期の大名、松浦清が松浦静山の名で執筆した「常清子剣談」の中の一節にあります。勝負は時の運とは言うものの、偶然に勝つことはあっても、偶然に負けることはない。負けの裏には必ず落ち度があり、逆に勝った場合でも、負けにつながったかもしれない何らかの要因がある。勝ち負けで一喜一憂するのではなく、そこから何を学びとることが大切なのだ…と。この話、感染対策にも通じることがあります。

感染は①病原体(感染源)、②感染経路、③宿主(その状態)の3つの要因が揃うことで成立します。つまり、これらの要因のうち1つでも取り除けば感染症は発生しません。①は投薬などの治療で、③はワクチン接種などの予防が主になるので、日々の感染対策においては、特に②感染経路の遮断が感染拡大防止において重要な対策となります。今国内で問題となっている新型コロナウイルス感染症についても同じことが言えます。水際対策の遅れから国内にウイルスが入り、現在有効な治療薬やワクチンも存在しないため、①病原体(感染源)の排除、③宿主(その状態)の感染予防ができず、②感染経路の遮断に頼るしか方法はありません。感染経路の遮断で身近に出来る具体的な方法は、「手洗い」をはじめ、「手袋」、「マスク」、「ゴーグル」の着用、病原体(感染源)に触れない、近寄らないなどがあります。昨今、首都圏では不要・不急の外出、特に3つの蜜(密閉、密集、密接)を避けるよう呼びかけていますが、それは感染経路になりうる行為を、出来る限りやめて欲しいからなのです。

今、新型コロナウイルスをはじめ、感染症に罹患してしまった人たちは、運が悪いからなのでしょうか？罹患していない人たちは完璧に感染対策を行っているからなのでしょうか？ひょっとして「不思議の勝ち」に満足していませんか？感染対策は結果が全てではありません。ちょっとした手抜きや過信が勝敗を分けます。感染対策をよく理解し、先手を打った準備と日々の努力を続けていくことが大切だと感じています。大切な方を守るためにも皆様のご協力をお願い致します。

感染対策研修会



当院では定期的に研修会を開催し、感染対策の強化に努めております。

認知症ケアチーム

こんにちは！石岡第一病院の認知症ケアチームです。

私たち認知症ケアチームは、2017年に発足し、認知症看護の研修を受けた看護師8名で活動しています。主な活動としては、入院している認知症の患者さんを対象に月2回の病棟ラウンド、体操などを取り入れたアクティビティ、自宅訪問による認知症患者さんや家族へのケア、看護スタッフへの勉強会開催や認知症ケアのアドバイスなどです。



チームメンバーによる病棟ラウンドでは、認知症症状のある患者さんを訪問し、患者さんが不安なく入院生活を送るためにはどうしたらよいか、病棟スタッフと相談しながらよりよいケアの提供を目指して活動しています。

アクティビティイベントは、「物忘れ予防のためのアクティビティ・ケア」と題して毎月、地域包括ケア病棟で開催しています。アクティビティ・ケアは、コミュニケーションを促進し、脳の活性化や身体機能の向上、生活の質(QOL)を高める効果があります。季節の行事や伝統文化を取り入れたアクティビティにより、たくさんの患者さんに楽しみながら参加していただいております。

また、入退院支援室と連携し、当院を退院された認知症患者さんの自宅訪問も行っております。自宅で過ごされる認知症患者さんを取りまく環境を予測し、入院中から多職種と関わらせていただいておりますが、中には予測しなかったお困りごとなどに、患者さんだけでなくご家族が遭遇することもあります。自宅を訪問することで、認知症の症状による不安やお困りごとなどが少しでも解消され、住み慣れた場所でその人らしく過ごせるよう、今後も病院全体が「ONE TEAM」となり、認知症患者さんやご家族を支援していきたいと考えております。

